

平成24年度民間賃貸借上住宅等入居者健康調査の結果

1 世帯の状況

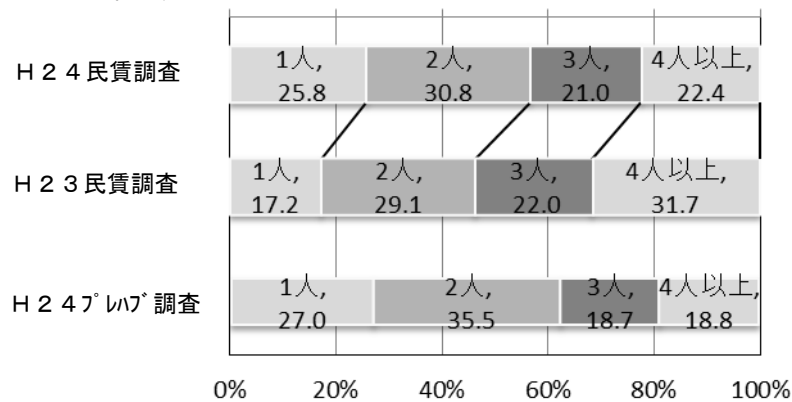
(1) 世帯人数

世帯ごとの人数は、「2人」が30.8%と最多で、次いで「1人」が25.8%であった。H23民賃調査と比べると、「1人」の世帯の割合が高く、「4人以上」の世帯の割合が低くなっている。

表1-1 世帯人数

世帯人数	世帯数 (割合)	H23民賃調査※1	H24プレハブ調査※2
1人	3,638 (25.8%)	17.2%	27.0%
2人	4,351 (30.8%)	29.1%	35.5%
3人	2,966 (21.0%)	22.0%	18.7%
4人以上	3,169 (22.4%)	31.7%	18.8%
計	14,124 (100.0%)	100.0%	100.0%

図1 世帯人数



(2) 独居高齢者世帯

65歳以上でひとり暮らしの世帯は1,070世帯あり、全世帯の7.6%であった。

表1-2 独居高齢者世帯の割合

H24民賃調査	7.6%
H23民賃調査	6.0%
H24プレハブ調査	16.4%
県平均(H24.3末)	9.2%

注 回答無記入・内容不明のデータは、除外して集計した(以下同じ)。

※1 H23民賃調査 : 平成23年度民間賃貸借上住宅入居者健康調査(平成24年1~3月実施)

※2 H24プレハブ調査 : 平成24年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査(平成24年9~12月実施)

2 調査対象者の属性

(1) 性別・年齢構成

65歳以上の高齢者の割合は22.7%であり、県平均（平成24年3月末現在で22.5%）とほぼ同じ値であった。

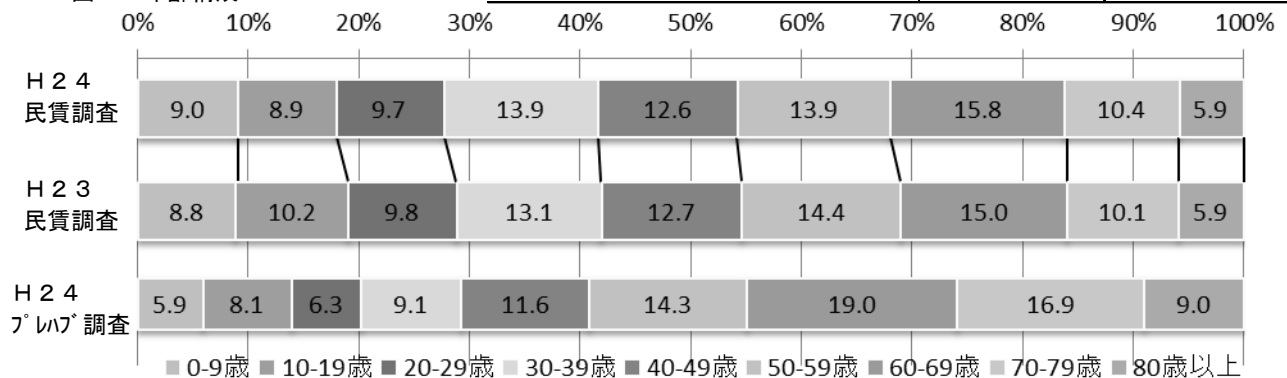
表2-1 性別

	人数	(割合)
男性	16,029	(46.8%)
女性	18,193	(53.2%)
計	34,222	(100.0%)

表2-2 年齢構成

	人数	(割合)	H23民賃調査	H24 ^{レハブ} 調査
0-9歳	3,093	(9.0%)	8.8%	5.9%
10-19歳	3,041	(8.9%)	10.2%	8.1%
20-29歳	3,336	(9.7%)	9.8%	6.3%
30-39歳	4,753	(13.9%)	13.1%	9.1%
40-49歳	4,318	(12.6%)	12.7%	11.6%
50-59歳	4,744	(13.9%)	14.4%	14.3%
60-69歳	5,391	(15.8%)	15.0%	19.0%
70-79歳	3,543	(10.4%)	10.1%	16.9%
80歳以上	2,003	(5.9%)	5.9%	9.0%
計	34,222	(100.0%)	100.0%	100.0%
65歳以上(再掲)	7,767	(22.7%)	22.0%	34.3%

図2 年齢構成



(2) 職業

職業は、「無職」が24.5%と最多で、「会社員」23.9%、「学生」12.6%と続いている。H23民賃調査と比べると、「無職」の割合が6.6ポイント減少している。

表2-3 職業(複数回答あり)

	人数	(割合)	H23民賃調査	H24 ^{レハブ} 調査
会社員	7,935	(23.9%)	22.4%	17.2%
公務員	873	(2.6%)	3.0%	1.3%
自営業	1,847	(5.6%)	3.1%	5.4%
パート・アルバイト	3,835	(11.6%)	7.1%	9.9%
主婦	3,871	(11.7%)	4.7%	12.1%
学生	4,171	(12.6%)	14.1%	10.2%
無職	8,139	(24.5%)	31.1%	32.7%
農業	281	(0.8%)		1.3%
漁業	255	(0.8%)	14.5%	4.4%
その他	1,988	(6.0%)		5.5%
合計	33,195	(100.0%)	100.0%	100.0%

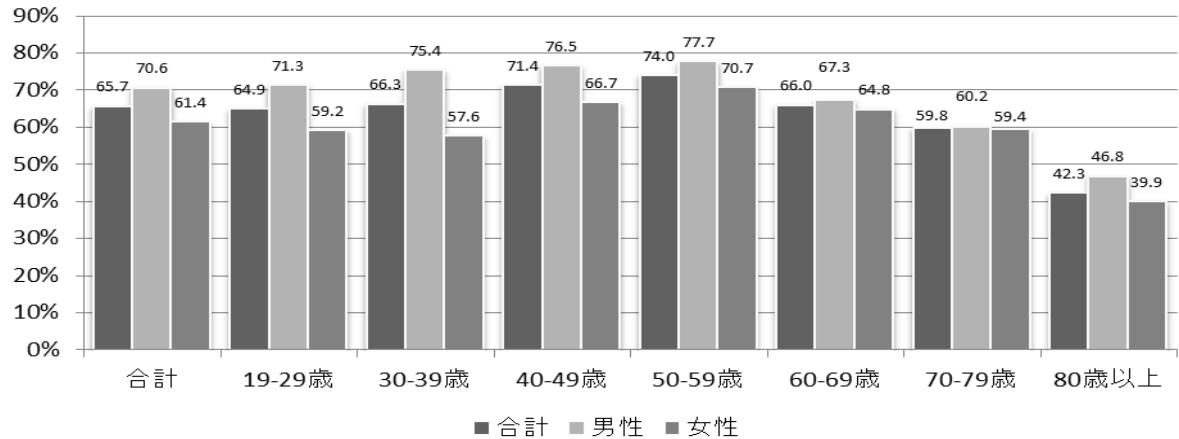
3 健診の受診状況

最近1年間に健診を受けた人は、65.7%であった。年代別では40歳代、50歳代が高いが、60歳代以降は年代が上がるにつれて低くなっており、70歳代で59.8%、80歳以上では42.3%となっている。

表3 健診受診状況(対象:19歳以上)

	人数 (割合)	H24フレハブ調査
受けた	18,351 (65.7%)	68.1%
受けていない	9,532 (34.1%)	30.8%
分からない	61 (0.2%)	1.1%
合計	27,944 (100.0%)	100.0%

図3 健診を受けた人の割合



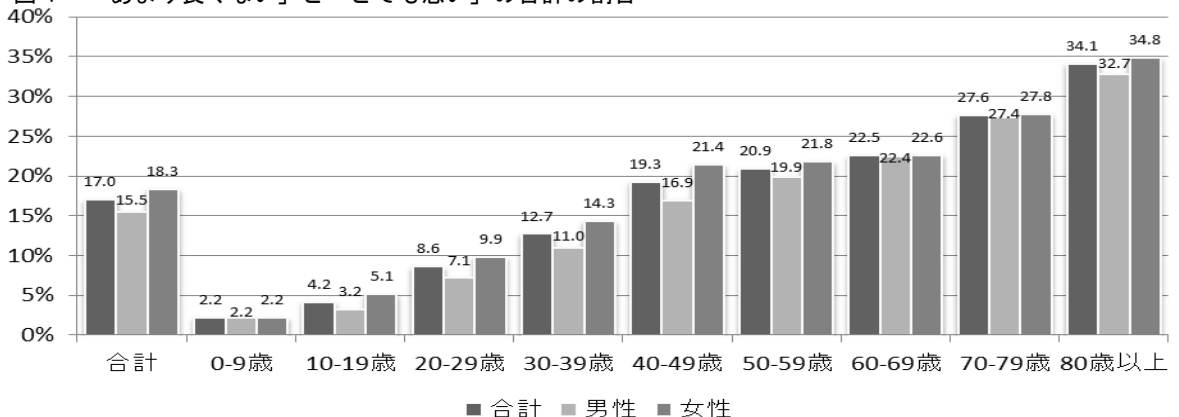
4 体調

体調については、「あまり良くない」、「とても悪い」と回答した人の割合は17.0%であり、H23民賃調査と比べて1.9ポイント低くなっている。年代別に見ると、「あまり良くない」、「とても悪い」と回答した人の割合が年代が上がるにつれて高くなっている。

表4 体調の状況

	人数 (割合)	H23民賃調査	H24フレハブ調査
大変よい	6,397 (19.3%)	14.2%	17.2%
まあよい	21,088 (63.7%)	66.9%	63.4%
あまり良くない	5,149 (15.6%)	17.4%	17.6%
とても悪い	474 (1.4%)	1.5%	1.7%
合計	33,108 (100.0%)	100.0%	100.0%

図4 「あまり良くない」と「とても悪い」の合計の割合



5 疾病の状況

現在、病気がある人の割合は40.6%で、H23民賃調査と比べると2.9ポイント高くなっている。年代別に見ると、年代が上がるにつれて高くなっている。

病気別では、高血圧（19.0%）が最多で、次いで糖尿病（6.4%）となっている。

また、病気があるが治療を受けていない人^{※1}は、847人であり、病気がある人の6.5%であった。

表5-1 現病歴の状況

	人数（割合）	H23民賃調査	H24プレハブ調査
ある	13,123（40.6%）	37.7%	52.0%
ない	19,205（59.4%）	62.3%	48.0%
合計	32,328（100.0%）	100.0%	100.0%

図5 病気がある人の割合

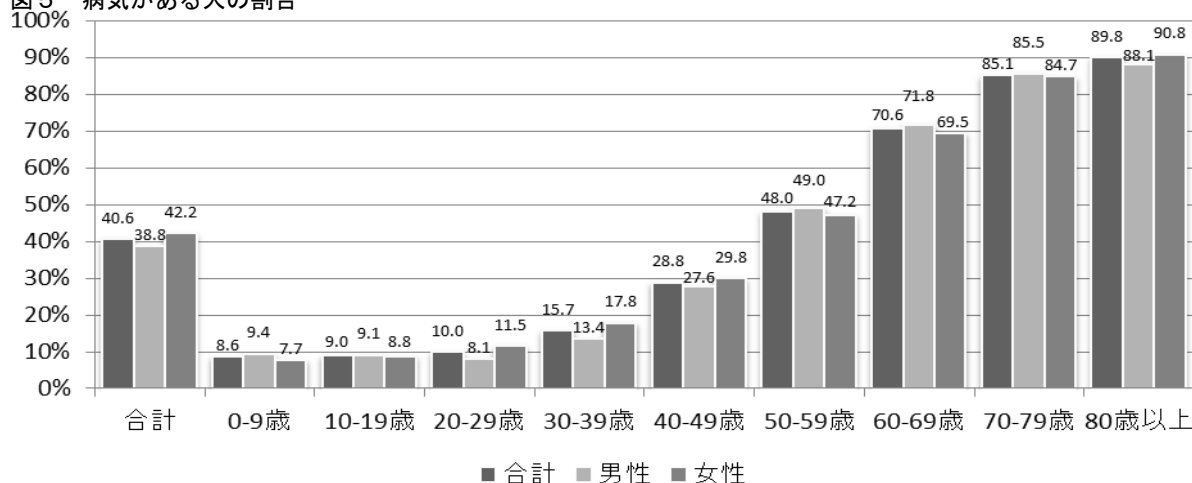


表5-2 病気の種類の別（複数回答あり）

	人数（割合※2）	H23民賃調査※2	H24プレハブ調査※2
高血圧	6,514（19.0%）	16.9%	27.3%
糖尿病	2,182（6.4%）	5.0%	8.7%
心疾患	1,229（3.6%）	2.8%	4.5%
呼吸器疾患	1,064（3.1%）	2.3%	3.4%
精神疾患	1,001（2.9%）	未調査	3.1%
がん	834（2.4%）	1.3%	2.8%
脳血管疾患	644（1.9%）	1.2%	2.2%
透析	108（0.3%）	0.2%	0.4%
その他	5,176（15.1%）	15.5%	16.5%

表5-3 治療を受けていない人の数

	合計	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
H24民賃調査※1	847	16	34	38	72	101	145	183	157	101
H23民賃調査※3	210	2	14	18	16	32	44	44	31	9
H24プレハブ調査※1	597	4	15	17	28	38	101	133	183	78

※1 「治療を受けていない人」には、経過観察中の人なども含まれている。

※2 割合は、有効回答数に占める割合。

※3 H23民賃調査では、「震災により治療が中断している」と回答した人の数。

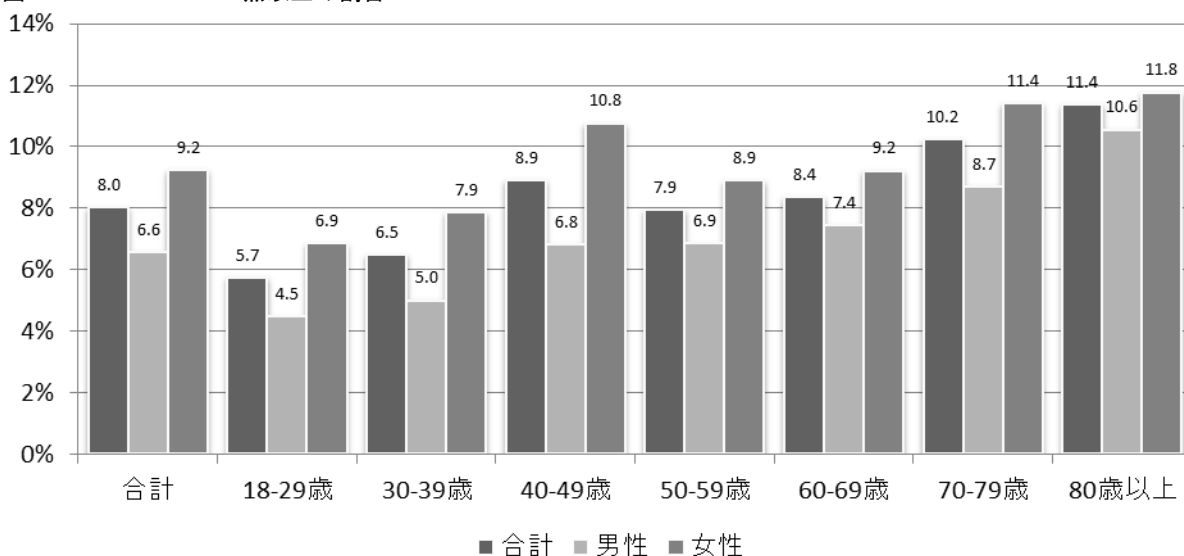
6 心の問題

不安、抑うつ症状を測定する指標であるK6[※]で見ると、「重症精神障害相当」（不安や抑うつなどにより、日常生活に支障をきたすおそれがある状態）とされる13点以上の割合は全体の8.0%であり、H23民賃調査と比べて全体で1.6ポイント低くなっている。全体的に女性が高く、年代別では80歳以上の女性が11.8%、70歳代女性が11.4%、40歳代女性が10.8%となっている。

表6-1 心の状況(K6, 対象:18歳以上)

	人数 (割合)	H23民賃調査	H24プレハブ調査
13点以上	1,948 (8.0%)	9.6%	9.5%
10-12点	2,044 (8.4%)	9.5%	9.5%
5-9点	6,121 (25.2%)	27.8%	26.3%
5点未満	14,184 (58.4%)	53.1%	54.7%
合計	24,297 (100.0%)	100.0%	100.0%

図6-1 K6 13点以上の割合



※ K6とは

6項目24点満点で、得点が高いほど不安、抑うつなどの心理的苦痛が高いことを意味する。合計点数5点以上が「心理的ストレス相当」、10点以上が「気分・不安障害相当」、13点以上が「重症精神障害相当」である。

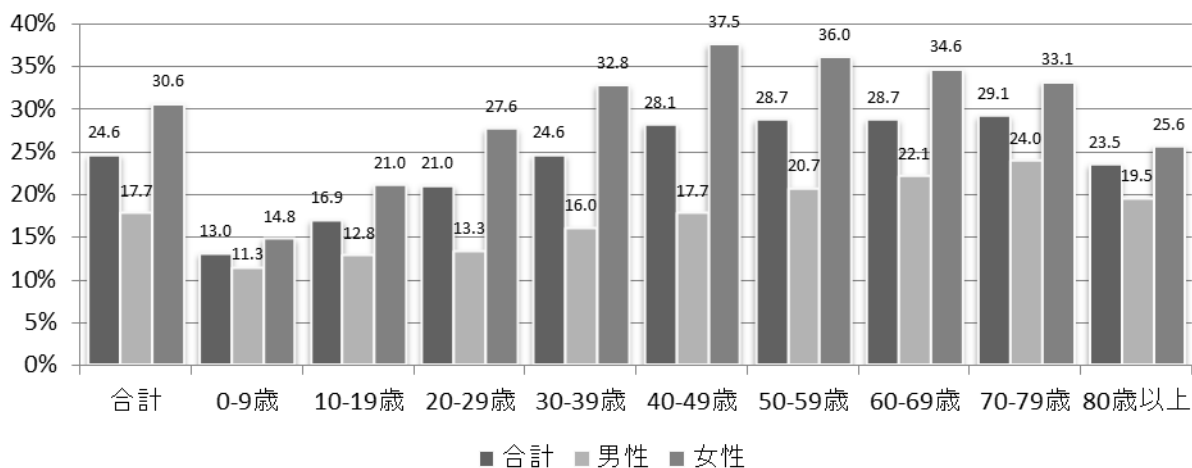
平成18年に全国2,000人を対象とした(分析は欠損値のない1,183人)全国調査では、5点以上が28%、10点以上が8%、13点以上が3%であった。(川上憲人、全国調査におけるK6調査票による心の健康状態の分布と関連要因、平成18年度厚生労働科学研究費補助金「国民の健康状況に関する統計情報を世帯面から把握・分析するシステムの検討に関する研究」分担研究書)

災害を思い出して気持ちが動揺することがあると回答した人は、全体の 24.6%であった。全体的に女性が高く、40歳代女性では37.5%となっている。

表6-2 心の状況

	人数	(割合※)
災害を思い出して気持ちが動揺することがある	8,412	(24.6%)

図6-2 災害を思い出して気持ちが動揺することがある人の割合※



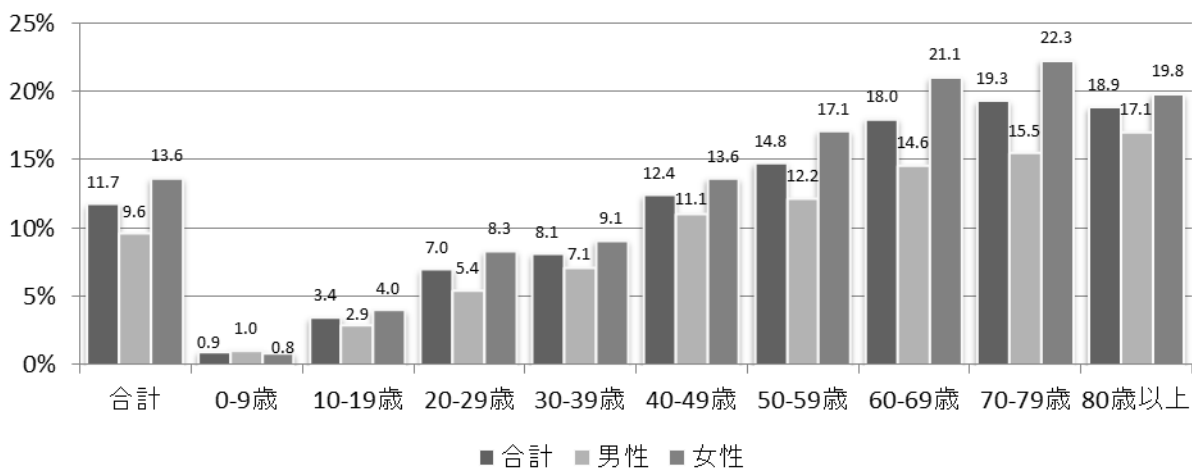
7 不眠の状況

眠れない人の割合は、全体で 11.7%であり、H23 民賃調査と比べて全体で 3.5 ポイント低くなっている。男女別では女性が高い。年代別では70歳代が最も高くなっており、70歳代女性は22.3%となっている。

表7 不眠の状況

	人数	(割合※)	H23民賃調査※	H24ﾌﾟﾚﾊﾞ調査※
眠れない	4,020	(11.7%)	15.2%	15.3%

図7 不眠の割合※



※ 割合は、有効回答数に占める割合。

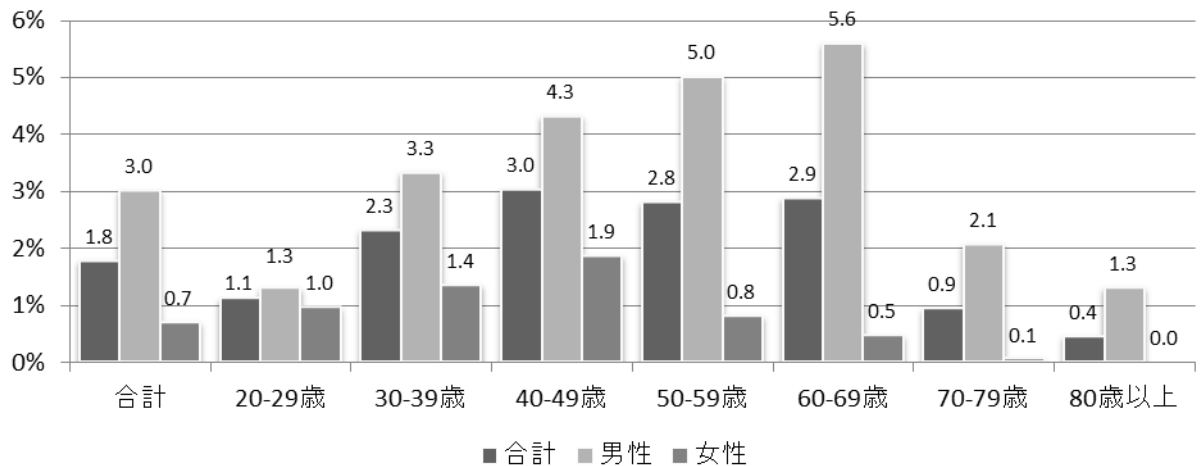
8 飲酒の状況

朝又は昼から飲酒することがある人の割合は全体で1.8%であり、H23民賃調査と比べて0.8ポイント増加した。60歳代男性が5.6%と最も高く、次いで50歳代男性が5.0%となっている。

表8 飲酒の状況

	人数（割合※）	H23民賃調査※	H24プレハブ調査※
朝又は昼から飲酒することがある	608（1.8%）	1.0%	1.8%

図8 朝又は昼から飲酒することがある人の割合※



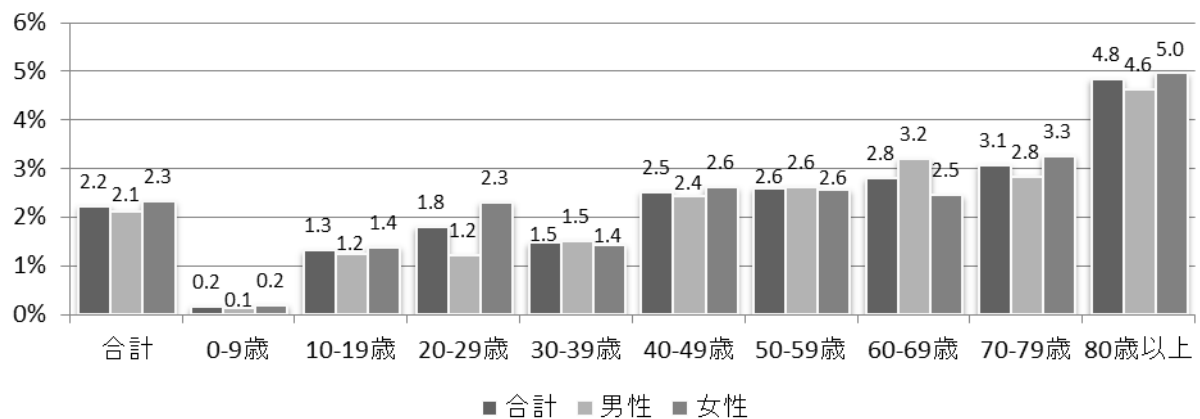
9 食欲及び体重変化の状況

食欲がない人の割合及び体重が減少した人の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。他方、体重が増加した人の割合は、30歳代から60歳代で高くなっており、年代別・性別に見ると、40歳代女性（22.5%）が最も高く、次いで50歳代女性（22.4%）となっている。

表9 食欲及び体重変化の状況

	人数（割合※）	H23民賃調査※	H24プレハブ調査※
食欲がない	764（2.2%）	2.9%	3.5%
体重減少	3,054（8.9%）	未調査	12.6%
体重増加	4,979（14.5%）	未調査	19.8%

図9-1 食欲がない人の割合※



※ 割合は、有効回答数に占める割合。

図9-2 体重が減少した人の割合※

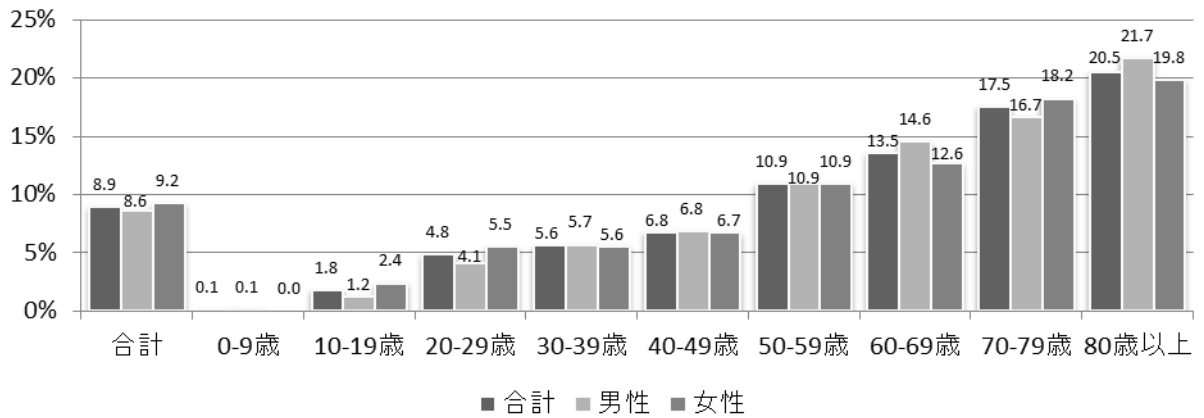
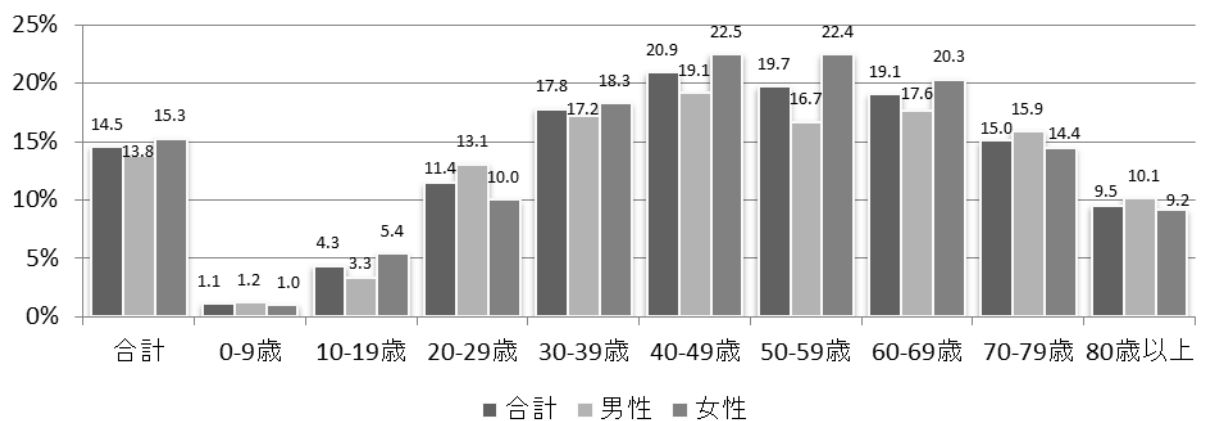


図9-3 体重が増加した人の割合※



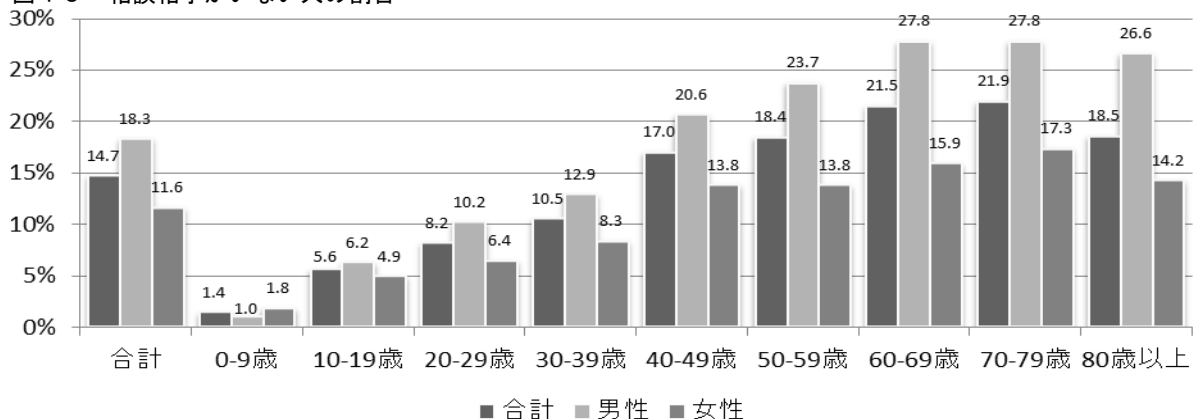
10 相談相手の有無

相談相手がいない人の割合は全体では14.7%であり、H23民賃調査と比べて3.7ポイント低くなっている。相談相手がいない人の割合を年代別・性別に見ると、60歳代男性及び70歳代男性で27.8%と最も高くなっている。

表10 相談相手の有無

	人数 (割合)	H23民賃調査	H24プレハブ調査
いる	25,380 (85.3%)	81.6%	81.5%
いない	4,374 (14.7%)	18.4%	18.5%
合計	29,754 (100.0%)	100.0%	100.0%

図10 相談相手がいない人の割合



※ 割合は、有効回答数に占める割合。

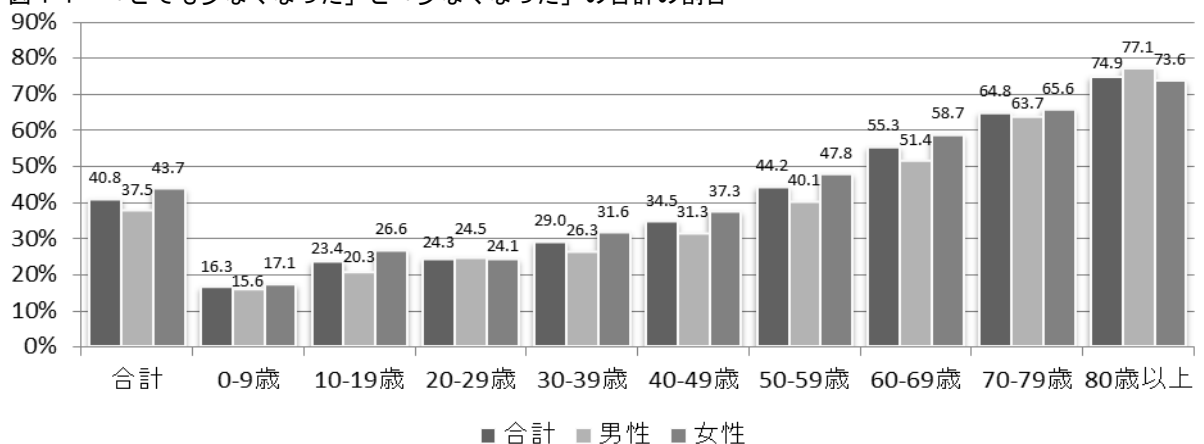
1 1 体を動かす機会の変化

震災前に比べて日頃の生活で体を動かす機会が「とても少なくなった」、「少なくなった」と答えた人の割合は全体で40.8%であり、H23民賃調査と比べると5.6ポイント低くなっている。

表11 体を動かす機会の変化

	人数 (割合)	H23民賃調査	H24プレハブ調査
とても少なくなった	4,626 (15.1%)	18.1%	18.8%
少なくなった	7,856 (25.7%)	28.3%	31.8%
変化なし(もともと少ない)	6,906 (22.6%)	21.1%	16.2%
変化なし(よく動く)	8,822 (28.8%)	26.8%	25.1%
増えた	2,377 (7.8%)	5.7%	8.0%
合計	30,587 (100.0%)	100.0%	100.0%

図11 「とても少なくなった」と「少なくなった」の合計の割合



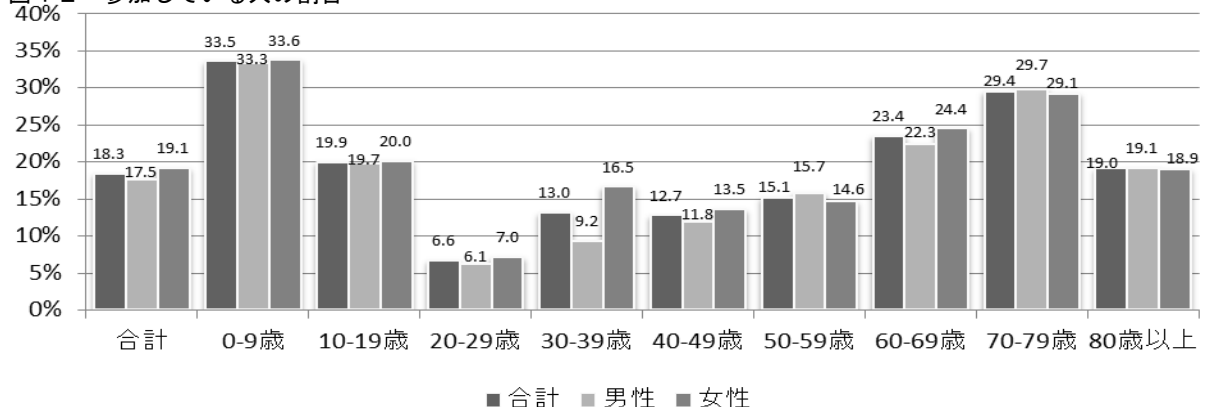
1 2 行事への参加状況

地域との交流行事に参加している人は、18.3%であり、H24プレハブ調査と比べると、参加している人の割合が大幅に低くなっている。年代別に見ると20歳代が最も低く、年代が上がるにつれて高くなっている。

表12 行事への参加

	人数 (割合)	H24プレハブ調査
参加している	5,585 (18.3%)	42.8%
参加していない	20,409 (67.0%)	52.8%
開催を知らない	4,482 (14.7%)	4.3%
合計	30,476 (100.0%)	100.0%

図12 参加している人の割合



1 3 要介護認定の状況

65歳以上に占める要介護・要支援認定者の割合は、16.7%であり、H23民賃調査と比べると1.7ポイント増加している。また、認定者のうち、サービスを利用している人の割合は、63.4%であった。

表13 要介護認定の状況

	認定者数 (割合※1)	サービス 利用あり (割合※2)	H23民賃調査 認定者割合※1	H24ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ調査 認定者割合※1
要支援1	322 (4.1%)	156 (48.4%)	3.2%	3.8%
要支援2	213 (2.7%)	119 (55.9%)		3.1%
要介護1	235 (3.0%)	155 (66.0%)	3.7%	2.9%
要介護2	203 (2.6%)	149 (73.4%)	3.5%	2.0%
要介護3	135 (1.7%)	105 (77.8%)	1.9%	1.6%
要介護4	101 (1.3%)	72 (71.3%)	1.8%	1.1%
要介護5	88 (1.1%)	66 (75.0%)	0.8%	0.8%
合計	1,297 (16.7%)	822 (63.4%)	15.0%	15.4%

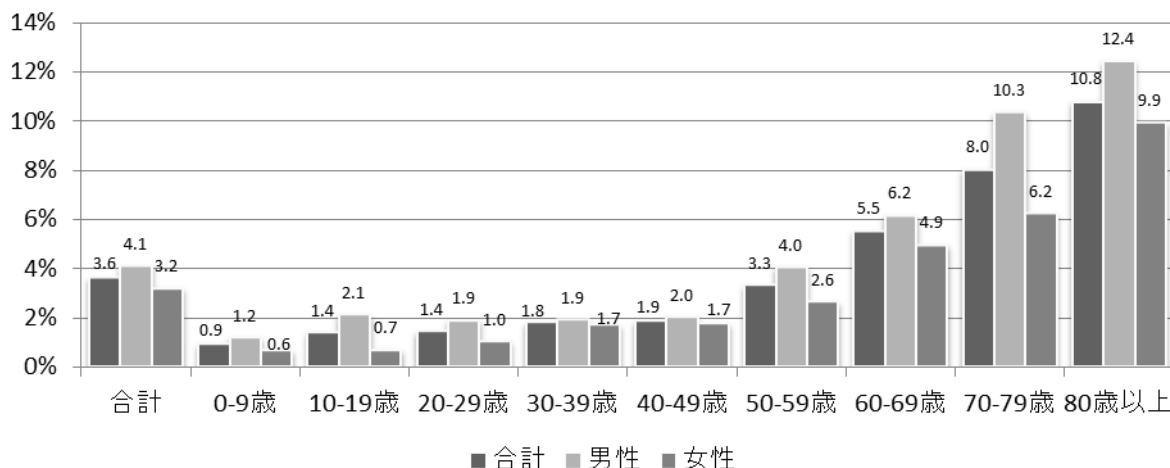
1 4 障害者手帳の有無

障害者手帳を持っている人は、合計で3.6%であった。男女別では男性が、年代別では年代が上がるにつれて高くなっており、80歳以上の男性では12.4%となっている。種別では身体障害が最も多い。

表14 障害者手帳の状況

	人数※3 (割合※4)	H23民賃調査※4	H24ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ調査※4
手帳あり	1,235 (3.6%)	3.6%	5.4%
身体	1,036 (3.0%)	2.6%	4.4%
療育	159 (0.5%)	0.4%	0.7%
精神	145 (0.4%)	0.2%	0.7%

図14 障害者手帳を持っている人の割合 (※4)



※1 65歳以上の高齢者数に占める割合。

※2 要介護・要支援認定者数に占める割合。

※3 複数の手帳を所持している人や種別を記載していない人がいるため、合計は一致しない。

※4 有効回答数に占める割合。

15 前回に引き続き回答があった人の状況

H24民賃調査の回答者34,222人のうち、13,095人(38.3%)は、H23民賃調査でも回答があった(H23民賃調査回答者26,626人に占める割合は49.2%)。

これら13,095人について、両調査における回答を比較すると、次のとおり多くの項目で改善が見られる。



(1) 回答者の性別・年齢構成

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	65歳以上(再掲)
男性	475	597	481	820	843	946	1,043	702	275	6,182	1,427
女性	495	621	534	877	875	1,002	1,157	829	523	6,913	1,835
合計	970	1,218	1,015	1,697	1,718	1,948	2,200	1,531	798	13,095	3,262
(割合)	(7.4%)	(9.3%)	(7.8%)	(13.0%)	(13.1%)	(14.9%)	(16.8%)	(11.7%)	(6.1%)	(100.0%)	(24.9%)

(2) 回答の状況

項目 (下線は改善している項目)	選 択 肢	回答人数 (割合※1)		増減
		H24調査	H23調査	
<u>体 調</u>	「とても悪い」+「あまり良くない」	2,074 (15.8%)	2,462 (18.8%)	-388 (-3.0)
疾病の状況	「病気がある」	5,306 (40.5%)	5,014 (38.3%)	292 (2.2)
<u>心の問題</u>	K6が13点以上	705 (7.4%)	965 (9.7%)	-260 (-2.2)
<u>不眠の状況</u>	「眠れない」	1,458 (11.1%)	2,110 (16.1%)	-652 (-5.0)
飲酒の状況	「朝又は昼から飲酒することがある」	171 (1.3%)	134 (1.0%)	37 (0.3)
<u>食欲の状況</u>	「食欲がない」	249 (1.9%)	361 (2.8%)	-112 (-0.9)
相談相手の有無	「いない」	1,495 (11.4%)	2,068 (15.8%)	-573 (-4.4)
<u>体を動かす機会の変化</u>	「とても少なくなった」+「少なくなった」	5,280 (40.3%)	5,725 (43.7%)	-445 (-3.4)

※1 前回に引き続き回答があった人13,095人に占める割合(心の問題※2を除く)。

※2 K6について有効な回答をした18歳以上の人に占める割合。